

26
(附) 対米交渉ヲ続行シテ九月六日即前會議決定ノ我最少ノ限ヲ要求ス至短期內ニ貫徹シ得ル見込アリヤ

S 1.1.3.1 -1

598

107

極秘

3107

外務省
印

一〇ノ(一)對米交渉ヲ續行シテ九月六日御前會議決定ノ我最少限度要求ヲ至短期內ニ貫徹シ得ル見込アリヤ

S 1.1.3.1-1

599

1108

至短期內ニ我方要求ヲ貫徹シ得ル見込無し

説明

米國側從來各種ノ提言及態度ニ徴スルニ一方ニ於テ重備ノ整備完了ニ至ル迄ハ日米間ニ事ヲ構フルヲ避クル爲メ國交調達ニ名ヲ附リテ交渉延期策ニ出テツツアリトノ疑アリ又他方帝國ノ真意、態度及其ノ意圖スル對外政策ヲ果シテ平和的手段ニ依リ遂行セントスルモノナリヤ否ヤニ付疑念ト不安ヲ懷キ居リ所謂四原則ヲ固執スル結果我方具體的提案中支那及佛印ニ於ケル駐兵及敵兵問題ヲ最モ重視スルト共ニ此等諸點ニ付日本側ヨリ満足スヘキ約諾ヲ得ル迄ハ交渉ヲ成立

S 1.1.3.1-1

600

109

セシムル意圖無キモノト認メラル、依テ我方案ヲ至短期内ニ受諾セ
シムルコトハ殆ト不可能ト言フノ他ナシ

S 1.1.3.1 -1

601

110

REEL No. A-0292

0000

アジア歴史資料センター

國家秘密

別紙

九月六日午前會議決定

對米（英）交渉ニ於テ帝國ノ達成スベキ最少限度ノ要求事項並ニ之ニ關連シ帝國ノ約諾シ得ル限度

第一 對米（英）交渉ニ於テ帝國ノ達成スベキ最少限度ノ要求事項

支那事變ニ關スル事項
一、米英ハ帝國ノ支那事變處理ニ容赦シ又ハ之ヲ妨害セザルコト
（イ）帝國ノ日支基本條約及日滿支三國共同宣言ニ準據シ事變ヲ解決セんとスル企圖ヲ妨害セザルコト

（ロ）「ビルマ」公路ヲ閉鎖シ且蔣政權ニ對シ軍事的助ニ經濟的援助ヲナサザルコト
（註）右ハN工作ニ於ケル支那事變處理ニ關スル帝國從來ノ主要ヲ

妨グルモノニアラズ而シテ特ニ日支間新取極ニ依ル帝國軍隊ノ駐屯ニ關シテハ之ヲ固守スルモノトス

但シ事變解決ニ伴ヒ支那事變遂行ノ爲支那ニ派遣セル右以外ノ軍隊ハ原則トシテ撤退スルノ用意アルコトヲ確言スルコト
支障ナシ

支那ニ於ケル米英ノ經濟活動ハ公正ナル基礎ニ於テ行ハルル限リ制限セラルルモノニアラザル旨確言スルコト支障ナシ

S 1.1.3.1-1

603

S 1.1.3.1-1

602

111

帝國國防
上ノ安全
ヲ確保ス
ベキ事項

ニ米英ハ極東ニ於テ帝國ノ國防ヲ脅威スルガ如キ行爲ニ出デザルコ
ト
(イ) 泰、蘭印、支那及極東「ソ」領内ニ軍事的權益ヲ設定セザルコ
ト

(ロ) 極東ニ於ケル兵備ヲ現状以上ニ増強セザルコト

(註) 日佛間ノ約定ニ基ク日佛印間特殊關係ノ解消ヲ要求セラル
ル場合ハ之ヲ容認セザルコト

帝國ノ所
要物資獲
得ニ關ス
ル事項

ニ米英ハ帝國ノ所要物資獲得ニ協力スルコト

(イ) 帝國トノ通商ヲ恢復シ且南太平洋ニ於ケル兩國領土ヨリ帝國
ノ自存上緊要ナル物資ヲ帝國ニ供給スルコト

(ロ) 帝國ト泰及蘭印トノ間ノ經濟提携ニ付友好的ニ協力スルコト

第二 帝國ノ約諾シ得ル結果

第一ニ示ス帝國ノ要求ガ應諾セラルルニ於テハ

一、帝國ハ佛印ヲ基地トシテ支那ヲ除ク其ノ近接地域ニ武力進出ヲナ
サザルコト

(註) 「ソ」聯ニ對スル帝國ノ態度ニ關シ質疑シ來ル場合「ソ」

側ニ於テ日「ソ」中立條約ヲ遵守シ且日滿ニ對シ脅威ヲ與
フル等同條約ノ精神ニ反スルガ如キ行動無キ限リ我ヨリ進

ンデ武力行動ニ出ツルコトナキ旨應酬ス

ニ帝國ハ公正ナル極東平和確立後佛領印度支那ヨリ撤兵スル用意ア
ルコト

三、帝國ハ比島ノ中立ヲ保障スル用意アルコト

S 1.1.3.1-1

605

S 1.1.3.1-1

604

112

附

日米ノ對歐洲戰爭態度ハ一線ノ防衛ト自衛ハ觀念ニ
依リ律セラルヘク又米ノ歐洲戰入ノ場合ニ於ケル
條約ニ對スル日本ノ解釋及實行ハ自主的ニ行
ハルヘキモノナルコト

註 右ハ從來三國條約ニ基ク帝國ノ義務
ヲ變更セシムニ非ズ